

潜在性結核感染症治療実態に関する研究

研究者

(研究代表者) 画像診断科 松本 常男

(分担研究者) 呼吸器内科 坂本 健次

研究の背景

日本における潜在結核感染治療は、イソニアジドもしくはリファンピシンとされているが、現在他の治療が行われているかどうかは分かっていない。調査によればイソニアジドとリファンピシンの2剤治療が少数行われているが、これらが、明らかな発病症例に行われているのか、胸部単純X線検査でははっきりしないような症例に行われているのか実施状況は不明であり、CTが広く行われる以前には潜在結核感染治療と考えられるような例に対しても単剤ではない治療が行われている可能性がある。

研究の目的

日本における潜在性結核感染治療の実態を検討する。

研究対象

2014年～2015年に結核感染を確認し、胸部単純X線検査にて活動性結核と思われる証拠がなく、問診および身体所見でも肺結核、肺外結核を思わせる所見がない患者。そのうち、抗結核薬で治療を開始した者患者。上記対象者の胸部単純X線検査で所見ない患者については、単純X線では所見がはっきりしないがCTでは所見があるもので、主治医の判断で結核発病と判断した患者についても対象とする。

方法

収集情報として、性別、治療開始時年齢、潜在結核感染、治療対象となった結核発病因子、潜在結核感染の検査方法及びその検査結果、胸部単純X線所見、CT所見、治療方法、有害事象及び有害事象時の対応、潜在結核感染治療中もしくは終了後の潜在結核感染治療開始時に判明していなかった活動性結核発病もしくは潜在結核感染治療開始後活動性結核と判断しての治療への切り替えの有無を診療情報記録から抽出する。収集情報は結核療法研究協議会内科会で集計し、検討する。

個人情報保護に関する配慮

患者さん個人が特定されないように、本研究専用の研究用番号を割り振り匿名化し管理しますので、個人情報が院外に出る事はありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の情報を研究対象から除外しますので、いつでも下記の連絡先までご連絡下さい。

照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒755-0241 山口県宇部市東岐波 685

山口宇部医療センター 臨床研究部 臨床研究部長 三村雄輔

TEL : 0836-58-2300 / FAX : 0836-58-5219、E-mail: mimuray@yamaguchi-hosp.jp